

2002年4月18日

スルッとKANSAI協議会

株式会社 ジェーシービー

株式会社 日立製作所

## **「スルッとKANSAI」ICカードシステムの 開発・運用パートナー決定とサービス内容確定について**

スルッとKANSAI協議会では、2003年度以降、対応可能な事業者から順次、ICカードシステムが導入できるよう、現在、鋭意、開発を進めておりますが、今般、システムの開発および運用を担当する事業者（パートナー）が決定するとともに、サービス内容が確定いたしました。

### 1. システム開発・運用パートナー

「スルッとKANSAI」ICカードシステムは世界的にも例を見ない利用実績に応じた運賃を事後清算できるポストペイサービスと、オートチャージ機能付きプリペイドサービスが可能なものであり、カード利用データの処理、月次の口座振替等にともなう高度なセキュリティと信頼性を有するICカードセンターが必要となります。そこで、ICカードセンターのシステム開発と運用に関して、このようなノウハウを有する事業者とパートナーシップを締結し、レベルの高いサービスの提供を行うことといたしました。

その事業者は『株式会社 ジェーシービー』（以下、JCB）と『株式会社 日立製作所』（以下、日立）です。

「スルッとKANSAI」ICカードセンターのうち、JCBは決済系システムを担当し、日立はセンター系システムを担当します。

なお、スルッとKANSAI協議会とJCBとは、2003年度に予定しているJCBが保有するクレジットカード決済端末（JET端末）のICカード対応にあわせて、「スルッとKANSAI」ICカード対応も行うことで合意しており、まずは関西圏の都市部に設置している1万台を対象に「スルッとKANSAI」ICカード対応を順次行っていく予定です。これにより、「スルッとKANSAI」ICカードが利用できる店舗は一挙に拡がることとなります。

今後、「スルッとKANSAI」ICカードセンターを活用して、利便性が非常に高いICカードサービスを拡げていきたいと考えております。

## 2. サービス内容

1枚のカードでポストペイサービス、プリペイドサービス、公共交通機関利用促進ポイントサービス、定期券サービスに対応しています。

### ポストペイサービス

ポストペイサービスは「スルッとKANSAI」加盟社局の任意サービスであり、ポストペイサービス導入社局でカードを利用されたときに適用します。

ポストペイサービスは、利用額を1ヶ月単位で集計し、月次での利用額を利用者指定の金融機関口座へ事後請求するため、利用実績にあわせて割引を適用するなど、柔軟なサービスも可能です。

### プリペイドサービス

プリペイドサービスは「スルッとKANSAI」加盟社局の必須サービスであり、ポストペイサービスを導入していない社局でカードを利用されたときに適用します。

プリペイドサービスは、あらかじめバリュー（価値額）をカードにチャージ（積増）するいわゆる電子マネー方式のサービスで、利便性向上を図るために、残額が少なくなったときには、改札機やバスの車載機にかざすだけで自動的にバリューをチャージするオートチャージ（自動積増）機能を付加します。なお、オートチャージ金額の決済につきましては、ポストペイサービスの利用金額とあわせて、月次の事後清算となります。

### 定期券サービス

定期券サービスは「スルッとKANSAI」加盟社局の任意サービスであり、現行の定期券の機能をカードに付加することが可能となります。

### 公共交通機関利用促進ポイントサービス

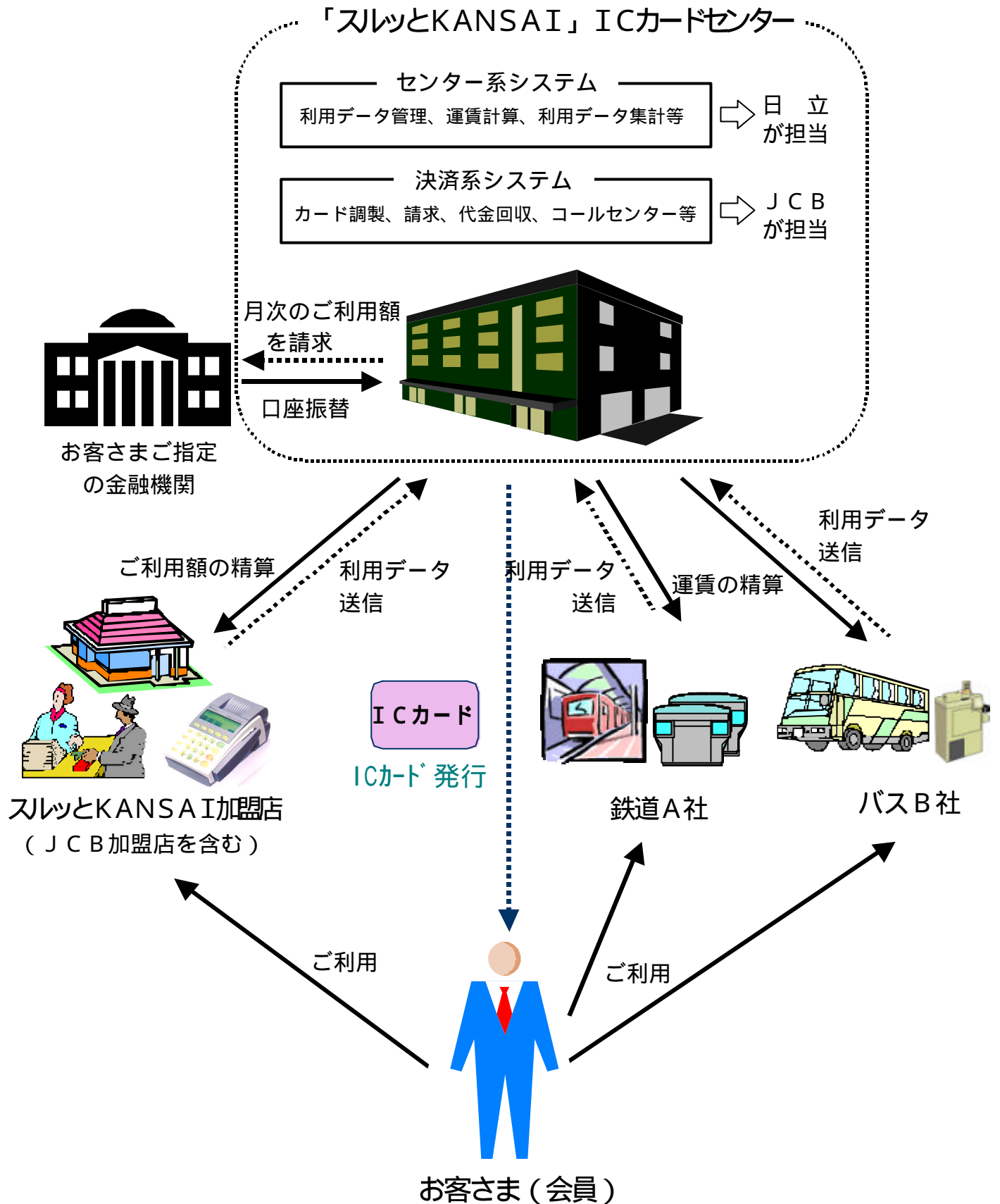
鉄道・バスの利用促進を図るため、「スルッとKANSAI」契約加盟店でカードを利用して商品を購入したり、サービスを受けた場合、その利用金額に応じて「スルッとKANSAI」の鉄道・バスで利用できるポイントを付与します。このポイントを月次で集計し、ポイントに応じた金額を当月の鉄道・バスの運賃から差引きお客さまに請求します。なお、ポイントの原資負担は各加盟店とし、公共交通機関利用促進による環境保護にご協力いただける加盟店を広く募集していきたいと考えております。

## 3. 今後の展開

2002年度中にシステム開発を完了し、2003年度にフィールドテストおよびモニターテストを経て、対応可能な事業者から本格導入する予定です。

なお、現金積増専用カードの導入につきましては、今後、検討を進めていきたいと考えております。

# 「スルッとKANSAI」ICカードシステムイメージ図



[ 参考 ]

スルッとKANSAI協議会

会長：新谷和英（大阪市交通局 総務部長）

平成8年3月、大阪市交通局、阪急電鉄、阪神電気鉄道、北大阪急行電鉄、能勢電鉄の5社局を、1枚のプリペイドカードでご乗車いただける共通カードシステムとしてスタートし、現在、39社局の鉄道、バス事業者で構成される協議会組織であり、鉄道及びバスの総営業距離は、約6,000km。

平成12年からは、加盟社局を3日間乗り放題の「3dayチケット」の発売を開始し、その後「神戸1dayチケット」、「大阪周遊パス」、「京都1dayチケット」といった、各エリア企画乗車券を発売。

その他、鉄道・バス部材の共同購入等を実施。

株式会社 ジェーシービー

代表者：取締役社長 中西 公

本社所在地：東京都千代田区神田駿河台1-6お茶の水スクエア

設立年月日：昭和36年1月25日

資本金：66億1,610万円（平成13年3月31日現在）

売上高：4兆8,276億円（平成13年3月31日現在）

従業員数：2,509名（平成13年5月31日現在）

株式会社 日立製作所

代表者：取締役社長 庄山悦彦

本社所在地：東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

設立年月日：大正9年2月1日

資本金：2,817億円（平成13年3月31日現在）

売上高：4兆158億円（平成13年3月31日現在）

従業員数：55,609名（平成13年3月31日現在）

この件に関するお問合せは  
スルッとKANSAI協議会  
TEL 06-6442-6667

株式会社 ジェーシービー  
TEL 03-5259-1237

株式会社 日立製作所  
TEL 03-5295-1682

以上

---

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。  
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

---